

事務事業名		男女共同参画市民意識啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	0 6 ともに支え合う地域づくりの推進		区分	
	基本事業名	0 3 男女共同参画の促進		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	協働まちづくり部男女共同参画室		【開始年度】	
	課長名	新沼 優		平成7 年度～	
	係名	-		-	
	担当者	鈴木 恭子	電話	0192-27-3111	事務事業区分
			内線	278	E 一般

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>例年実施している事務の内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画「いきいき講座」・「出前講座」の開催 市民や事業者、各種団体等に対し、男女共同参画に関する意識啓発講座を実施。 男女共同参画週間(6/23～29)協賛事業の実施 市立図書館において、男女共同参画関連図書展の実施。市広報紙へ関連記事掲載。 意識啓発事業 市内各所において、男女共同参画関連パネル展示の実施。 市広報紙への「いきいき通信」の掲載(年2回) 記事の編集を、男女共同参画関連団体と共同で実施。市内全世帯に配布。また、関連イベントや講座に係る記事も随時掲載。 市内外で行われる男女共同参画関連イベントや講座等への参加案内。(関係団体等への情報提供を含む。) 男女共同参画室ホームページにおける、各種関連イベント等の情報発信(随時) 				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数							
	延べ業務時間							
	人件費計(B)	0						
トータルコスト(A)+(B)		0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
第5次大船渡市男女共同参画行動計画の策定と連動して、男女共同参画関連講座等の開催や、図書展及びパネル展等の啓発活動、住民・事業者アンケート調査やグループインタビュー等を実施した。また、男女共同参画情報「いきいき通信」を市広報紙に年2回掲載したほか、関連イベントやセミナー等の情報について、市ホームページやSNSなどを活用して周知した。		ア	「いきいき講座」の開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	「いきいき通信」の発行部数
※事業名称変更 「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」(計画期間:令和5～9年度)に基づき、意識啓発事業は具体的取組と連動して実施することから、事業名称を「男女共同市民会議等事業」に変更する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		カ	市の人口
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
男女共同参画に関心をもってもらう。		名称	
		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	各種講座の延参加者数
市民一人ひとりが男女共同参画意識をもつことで、男女共同参画社会の実現に向けた推進が図られる。		シ	「出前講座」の開催回数
		ス	講座を理解できた答えた受講者の割合

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	533	533	533	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	15	0	30	1,258	1,258	1,258	
	事業費計(A)		千円	15	0	30	1,791	1,791	1,791	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	200	450	480	500	500	500	
		人件費計(B)	千円	800	1,800	1,920	2,000	2,000	2,000	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	815	1,800	1,950	3,791	3,791	3,791	
⑤活動指標	ア	回	1	0	0	1	1	1		
	イ	部	30,000	29,720	29,600	29,600	29,600	29,600		
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	34,796	33,948	33,540	33,534	33,529	33,527		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	人	160	152	236	200	200	200		
	シ	回	-	1	1	1	1	1		
	ス	%	-	100.0	96.4	100.0	100.0	100.0		

事務事業ID	0359	事務事業名	男女共同参画市民意識啓発事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成7年度において、女性施策の総合的な企画・調整を図る窓口として「女性政策推進室」を設置したのがきっかけである。
また、関連研修会等への参加状況などから、男女共同参画の取組において、男性の参画意識の低さが見受けられることから、男性への働きかけや、誰もが参加しやすくなるような環境の整備や、周知方法の工夫などが求められている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
令和5年1月に「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」(計画期間:令和5年度～令和9年度)を策定した。
令和4年度に「男女共同参画社会に関する市民・事業者アンケート調査」を実施したところ、「社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位」の市民意識の割合で、男性が優遇されていると回答した割合が5年前の調査と変化がなく、ワーク・ライフ・バランスにおいても、理想とする働き方・私生活のバランスと、実際の状況にギャップがあると回答した市民の割合が高かったほか、事業者アンケート調査において、管理職などにおける女性の登用が進んでいない状況も明らかとなったことから、第5次計画においては、意識啓発と連動しながら、各種取組を効果的に推進することとした。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
男女共同参画関係団体や大船渡市男女共同参画審議会委員等から、意識啓発に係る取組の必要性はもとより、関係機関との連携・協働や、より実効性のある取組の実施が求められている。
また、関連研修会等への参加状況などから、男女共同参画の取組において、男性の参画意識の低さが見受けられることから、男性への働きかけや、誰もが参加しやすくなるような環境の整備や、周知方法の工夫などが求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容 男女共同参画の意識啓発事業は、大船渡市男女共同参画行動計画に基づくもので、当市の男女共同参画社会の構築に資するものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容 大船渡市男女共同参画推進条例第14条「市は、市民等の男女共同参画についての理解を促進するために必要な広報活動等を行うよう努めるものとする」との規定に基づき実施するものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容 本事業は、すべての市民が対象となるものであり、現段階では対象の拡大も縮小もできない。意図については、今後、男女共同参画の「理解」から「より一層の意識の定着」へと拡大の余地はあるが、それに至るまでには時間を要すると思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容 子育て世代、高齢者、市民活動団体、企業等、対象者や講座のテーマを検討しながら、対象者に合致したテーマや手法で事業を継続することにより、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容 男女共同参画社会の実現には、その主体となる市民や各種団体・企業等への情報提供が不可欠であり、この事業を廃止すると、意識啓発を図る手段を失うことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 情報紙の編集や啓発活動等を、男女共同参画関係団体の会員と共同により実施することで人件費の削減に努めているが、大船渡市男女共同参画審議会委員をはじめ、各方面から意識啓発がまだまだ不足しているとの指摘があり、これ以上の削減は難しい状況にある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容 各種講座やパネル展示等は参加料無料としている。受益者負担を求めると、意識啓発の普及に支障を来たすことから、材料費等特別な費用が必要でない限り、無料が望ましいと考える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
3 終了・廃止・休止	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	令和5年1月に策定した「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」に基づき、意識啓発と連動した各種取組の推進を図るため、令和5年度から「男女共同市民会議等事業」として実施することから、本事業を廃止する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
3 終了・廃止・休止	市民意識の啓発のみにとどまることなく、ジェンダー平等に係る具体的な行動変容を促すことこそが重要であり、本事業を発展的に解消し、新たな事務事業を設定すべきである